



平成 30 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T A T E R U  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 古 木 大 咲  
(コード番号：1435 東証第一部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 経 営 管 理 本 部 長 高 杉 雄 介  
(TEL. 03-6447-0651)

第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 30 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と本日公表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期（累計）業績予想と実績値との差異について

平成 30 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績値の差異  
(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,639	1,926	1,913	1,280	16.20
今回修正予想 (B)	37,352	2,308	2,187	1,420	17.51
増減額 (B-A)	9,713	382	274	140	
増減率 (%)	35.1	19.8	14.3	11.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	26,454	1,925	1,866	1,214	15.88

(注) 当社は平成 30 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算出しております。

## 2. 業績予想の差異の理由

金融庁の監視強化により相続増税対策のアパートローンが減少したものの、日銀によるマイナス金利政策が継続されるなどの良好な資金調達環境を背景に、不動産市場への資金流入が続いており、このような経済環境の中、当社は、主要な事業であるアパート経営プラットフォーム TATERU Apartment 事業において、機能強化や知名度の向上を図ることで、会員数の増加と成約率の維持・向上を推進してまいりました。その結果、当第2四半期累計期間における引渡棟数が当初の想定を上回る水準で推移いたしました。

上記を受け、TATERU Apartment 事業が堅調に成長を続けていることのみならず、新規事業である TATERU Finding 事業、TATERU bnb 事業及び Robot Home 事業についても、当第2四半期累計期間の売上高が予想を上回る結果となりました。

その結果、売上高の増加を受けて営業利益、経常利益、四半期純利益は、当初の予想を上回る結果となりました。

## 3. 今後の見通し

平成30年12月期通期業績の見通しにつきましては、平成30年2月13日に公表いたしました予想値を据え置いておりますが、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

(注) 本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上